

交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶企画課 ☎23局3507

“五平餅”^{ごへいもち}で比べてみよう！ 田原市の国内交流都市

田原市には、国内に3つの姉妹・友好都市（設楽町、長野県宮田村、長野県阿南町）があります。これらのまちと交流する際、「五平餅」がふるまわれることがあります。実はそれぞれ形や味などに違いがあるってご存じでしたか？ 今回の交流通信では、それぞれのまちの五平餅をご紹介します。

① 姉妹都市・設楽町の五平餅

私たちにはなじみが深い小判型の五平餅。タレみそは、胡麻やピーナッツ、クルミ、かつお節などで味付けられます。地域によっては、へボの子（ハチの子）を混ぜたタレみそもあるんですよ。



② 友好都市・長野県宮田村の五平餅

団子のような丸い形といえば、宮田村の五平餅。タレみそは、クルミやサンショウなどで味付けられることが多いようです。



③ 友好都市・長野県阿南町の五平餅

11月16日（日）に行われたサンテパーク秋の収穫祭・阿南町物産展で、目にした方もいるのでは？ “ひだ”のついた独特の形の五平餅は、フワフワした食感とあっさり味が特徴です。

皆さんも各交流都市を訪れた際には、それぞれの五平餅を楽しんでみてください。

忍びよる巨大地震

防災まめ知識 43

ライフラインが止まったら①

電気やガス、水道、電話などは、私たちの生活になくてはならないもので、**ライフライン**（生命線）といわれています。大地震が発生したら、そのライフラインはおそらく使えなくなってしまうます。ライフラインが使えなくても生活できるように備えておくことが必要です。

平 成7年1月17日に発生した阪神大震災。このとき、ライフラインが応急復旧するまでに、次の日数がかかりました。

水道	ガス	電話	電気
4月17日（90日後）	4月11日（84日後）	1月31日（14日後）	1月23日（発生から6日後）
復旧年月日（平成7年）			

（資料：兵庫県）

田 原市周辺で発生すると心配されている東海地震や南海地震は、東海地方から四国地方に及ぶ広い範囲に被害をもたらすと想定されています。ということは、局地的な被害であった阪神大震災のときよりも、復旧までに多くの時間がかかるかもしれません。また、復旧に当たる他の地域からの応援も、期待できない可能

性があります。現在は、地震対策も進められ、技術も進歩していますが、「絶対に大丈夫！」ということはありません。場合によっては、阪神大震災のときよりも復旧に時間がかかってしまうことが考えられます。

ライフラインが止まったら

「たら、給水車による水の提供や炊き出しなどの緊急支援が行われることとなります。しかし、この支援も、被害が広範囲に及ぶときには、被災地に届くまで時間がかかってしまう可能性があります。」



※今回は、ライフラインが止まってしまったときへの備えについてご紹介します。

▼防災対策室 ☎23局3548

